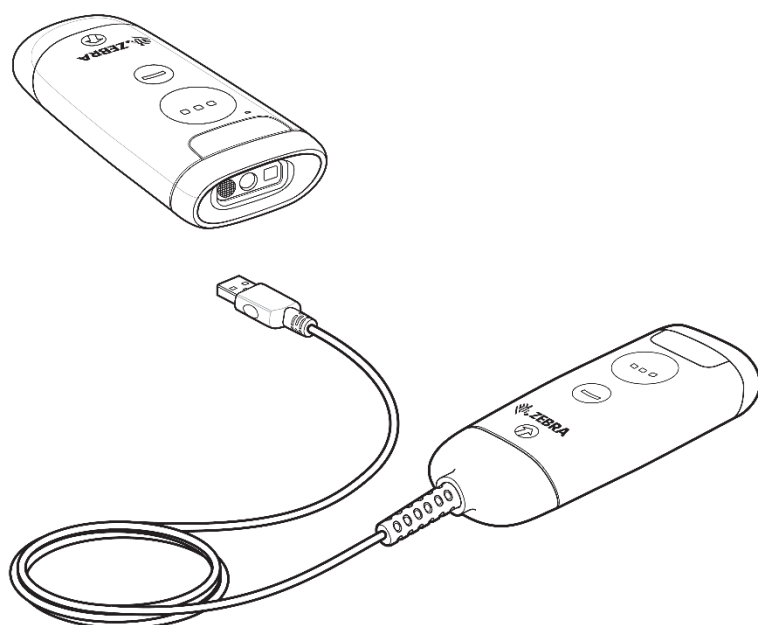




コンパニオンスキャナ

CS6080

かんたんスタートガイド



はじめに

このたびは、小型 軽量 ハンズフリー リングスキャナ CS6080 シリーズ（以下、本製品）をお選びいただき 誠にありがとうございます。

本マニュアルは、初めてのお客様でも本製品を簡単に使い始めていただけるように、基本的な使い方に絞って説明しています。

各パラメータの詳細など本製品の詳細な説明につきましては『CS6080 プロダクト リファレンスガイド』など、付属のドキュメントをご参照ください。

なお、機種やバージョンにより、実際の製品と本マニュアルの記載内容が異なることがあります。

バッテリーに関するご注意

- ・指定された充電器以外では充電しないでください。
- ・火の中に入れてください。また、ショートさせたり、分解しないでください。
- ・指定温度範囲を超える高温または低温で充電しないでください。
- ・火の近くや炎天下などに放置しないでください。
- ・水やその他の液体で濡らさないでください。
- ・バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、直ちに医師に相談してください。

製品保証

本製品の本体無償保証期間は 3年間（36ヶ月）です。

※バッテリー単体およびケーブルなどのアクセサリは本体の製品保証に含まれません。

お願い

本マニュアル内には、本製品を設定するためのバーコードが記載されています。

バーコードが隣接して読み取りにくい場合はピククリストモード（Page-23）の設定を有効にしてください。

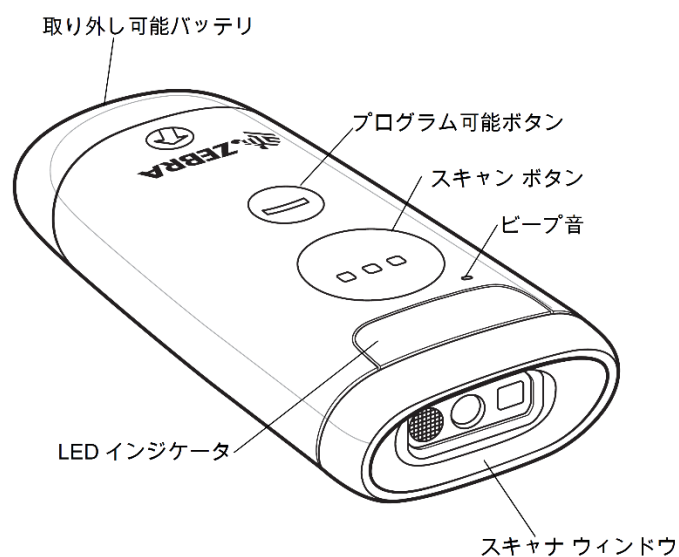
目次

各部の名称	4
本製品の使い方	5
■ 取り付け・取り外し	5
■ ボタン操作	6
■ スキャナ インジケータ	7
■ ホストとの接続	11
ケーブル経由での接続（HID キーボード）	12
■ USB ケーブル経由での USB 接続	12
■ クレードル経由での USB 接続	12
ケーブル経由での接続（HID キーボード） 共通	13
■ USB キーストローク遅延	13
■ USB 高速 HID	13
Bluetooth 経由での接続（HID キーボード）	14
■ iPhone/iPad との接続	14
■ Android との接続	16
■ Windows との接続	18
■ 端末との再接続	20
■ ペアリングの解除	21
自動的に付加コードを入力する	22
読み取り設定	23
■ ピックリストモード	23
■ ビープ音の大きさ	23
■ 全バーコードの読み取り	23
■ EAN/JAN の読み取り	24
■ UPC-A/UPC-E の読み取り	24
■ Code39 の読み取り	25
■ Code128 の読み取り	25
■ NW7 の読み取り	26
■ GS1(GTIN)の読み取り	26
■ GS-1 コンボジットの読み取り	27
■ 2D バーコードの読み取り	28
その他の設定	29
■ パスポート OCR 読み取りの設定	29
■ 呼び出しボタン	30
■ 仮想テザー	30
サンプルメニュー	31
■ GS1 編集機能	31

各部の名称

コードレス正面図

図 1 コードレス正面図



コード付き正面図

図 2 コード付き正面図

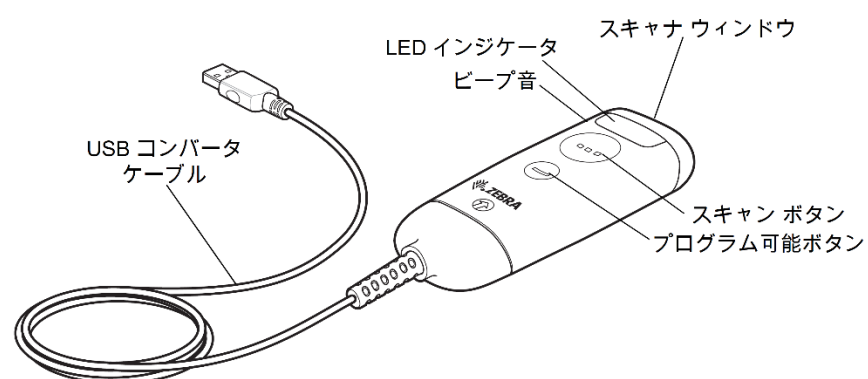
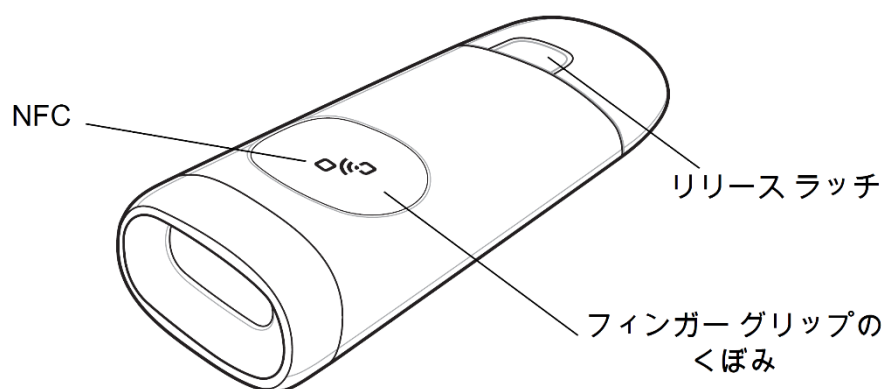


図 3 底面図



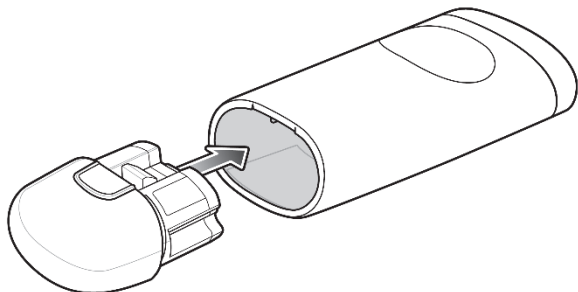
本製品の使い方

■ 取り付け・取り外し

バッテリーを使用してスキャナを充電します。

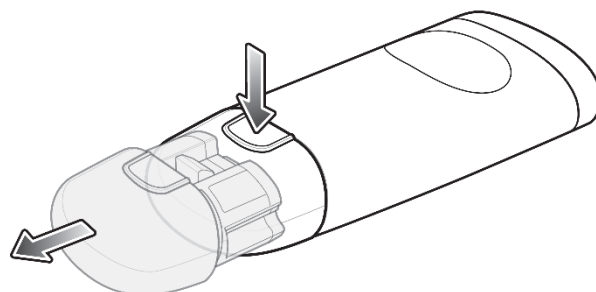
● バッテリーの取り付け

バッテリーをスキャナに挿入します。



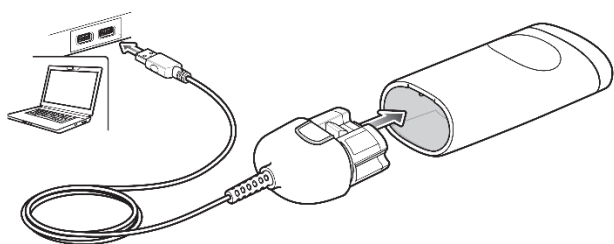
バッテリーが所定の位置に収まるまで、バッテリーをスキャナに押し込みます。

取り外し



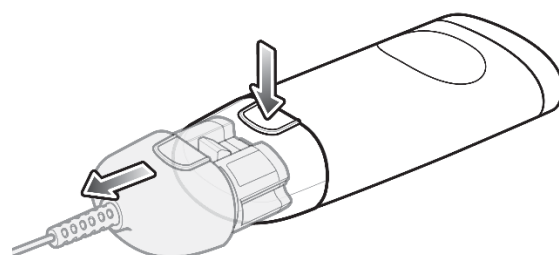
リリース ラッチを押してバッテリーをスキャナから引き出します。

● コード付き USB コンバータ ケーブルの取り付け



コード付き USB コンバータ ケーブルをスキャナに挿入し、もう一方の端をホスト PC の USB ポートに接続します。

取り外し



リリース ラッチを押してケーブルをスキャナから引き抜きます。

■ ボタン操作

ボタンを押す際には、ボタンのくぼみを軽く押します。

操作	説明
スキャン ボタン (■ ■ ■)	
1 回押す	スキャンボタン
2 回押す (素早く)	接続が切断されている場合は、最後に確認された機器に接続します。 HID モードで Apple デバイスに接続している場合は、仮想キーボードを送信します
3 秒間押し続ける	バッテリー状態
ビームがオフになるまで押し続け、さらに 5 秒間押し続ける	ナイト モード
プログラム可能ボタン (-)	
(クレードルから外した状態で) 1 回押す	ホスト側画面にキーパッドを表示/ 非表示にします (Apple iOS 仮想キーボード切り替え)
1 回押すオプション 2	プログラム可能なスキャンボタン
1 回押すオプション 3	ランプ モードの切り替え (コードレスのみ)
クレードルに装着して 1 回押す	ランプ モードの切り替え (コードレスのみ)
2 回押す	Bluetooth 接続を切断します

■ スキャナ インジケータ

● ビープ音および LED インジケータ

ビープ音のシーケンス	LED	意味
通常の使用時		
低音→ 中音→ 高音	緑色	電源が投入されました。
スキャン中		
なし	緑色の点灯	プレゼンテーション モードがオンになっています。
なし	LED の点灯なし、緑色の LED が消灯	プレゼンテーション モードがオフになっています。
中音 (または設定したビープ音)	緑色の点滅	バーコードが正常に読み取られました。(ビープ音のプログラミングについては、「 その他の LED インジケータ 」を参照してください)。
長い低音 4 回	赤色	スキャンしたコード/記号で転送エラーが検出されました。データは無視されます。これは、本装置が正しく設定されていない場合に発生します。オプション設定を確認してください。
5 回の長い低音	赤色	変換またはフォーマットに関するエラーが発生しています。
なし	スキャンボタンを押すと赤色ですばやく点滅	スキャンに対するホストコマンドによってスキャナが無効になっています。
無線操作		
低音→ 高音→ 低音→ 高音	赤色	バッチのストレージのメモリが足りず、新しいバーコードを保存できません。

ビープ音のシーケンス	LED	意味
無線インジケータ		
低	なし	スキャナがクレードルに装着されました (無効になっている可能性があります)。
低音→ 高音	青色	Bluetooth 接続が確立されました。
高音→ 低音	赤色	Bluetooth 接続が切断されました。
長い低音→ 長い高音	赤色	Bluetooth 呼び出しタイムアウトが発生しました。リモート デバイスが通信エリア外にあるか、電源が入っていません。
長い低音→ 長い高音→ 長い低音→ 長い高音	赤色	Bluetooth 接続試行がリモート デバイスにより拒否されました。
なし	青色 (点滅)	Bluetooth が再接続を試行中です。
高音 5 回	青色 (点滅)	再接続試行時のビープ音を有効にします (デフォルトは無効)。
高音 6 回	青 (速く/ 速く/ ゆっくり)	呼び出し状態の表示
パラメータ プログラミング		
長い低音→ 長い高音	赤色	入力エラー、不適切なバーコードまたは「 キャンセル 」のスキャン、間違った入力、不適切なバーコード プログラミングシーケンスなどで、プログラム モードが完了していません。

高音→ 低音	緑色	キーボード パラメータが選択されました。バーコード キーパッドで値を入力してください。
高音→ 低音→ 高音→ 低音	緑色	プログラムが正常に終了し、パラメータ設定の変更が反映されました。
ADF プログラミング		
高音→ 低音	緑色	数字の入力が必要です。数字を入力してください。必要に応じて始めにゼロを追加してください。
低音→ 低音	緑色	英字の入力が必要です。次の英字を入力するか、「 メッセージの終わり 」バーコードをスキャンします。
高音→ 高音	緑色の点滅	ADF 条件またはアクション バーコードの入力が必要です。条件またはアクションを入力するか、「 ルールの保存 」バーコードをスキャンします。
高音→ 低音→ 低音	緑色	現在のルールの条件またはアクションがすべてクリアされ、ルールの入力モードが継続しています。
高音→ 低音→ 高音→ 低音	緑色 (点滅の停止)	ルールが保存されました。ルールの入力モードが終了しました。
長い低音→ 長い高音	赤色	ルールのエラー。入力エラー、間違ったバーコードのスキャン、または条件 / アクションのリストがルールとして長すぎます。 条件またはアクションを再入力してください。
低音	緑色	最後に保存したルールが削除されました。現在のルールは、そのまま残されます。

ビープ音のシーケンス	LED	意味
低音→ 高音→ 高音	緑色	すべてのルールが削除されました。
長い低音→ 長い高音→ 長い低音→ 長い高音	赤色	ルールのメモリが不足しています。既存のルールの一部を消去し、ルールの保存を再試行してください。
長い低音→ 長い高音→ 長い低音	緑色 (点滅の停止)	ルールの入力がキャンセルされました。エラーのため、またはユーザーがルールの入力の終了を選択したため、ルールの入力 モードが終了しました。

●LED インジケータ

操作	説明
読み取りインジケータ LED	
読み取りに成功	緑色
エラー発生時	赤色
バッテリー インジケータ LED	
クレードルに装着していて、充電が完了している場合	緑色で点灯
クレードルに装着していて、充電が進行中の場合	黄色で点滅
クレードルに装着していて、充電エラーが発生した場合	黄色で速く点滅
ハンドヘルド モードで使用して、スキャン ボタン (….) を 3 秒間押した場合 - バッテリーはフル充電	緑色で点灯
ハンドヘルド モードで使用して、スキャン ボタン (….) を 3 秒間押した場合 - バッテリーは途中まで充電	黄色で点灯
ハンドヘルド モードで使用して、スキャン ボタン (….) を押した場合 - バッテリー残量低下	赤色で点灯
Bluetooth インジケータ LED	
アクティブにペアリング中	青色で点滅
接続済み	青色で点灯
Bluetooth エラー	赤色で 2 秒間点灯

●その他の LED インジケータ

操作	ビープ音のシーケンス	システム/ 読み取り LED	操作
通常使用時			
起動した	低音、中音、高音	緑色	電源投入
読み取り	設定による	緑色	バーコードが読み取られました
ハンズフリー モード (プレゼンテーション オン)	なし	緑色 (点灯)	プレゼンテーション モード オン
ハンドヘルド モード	なし	緑色 (消灯)	プレゼンテーション モード オフ
TRANSMIT_ERROR	低音 4 回	赤色	転送エラー
CONVERT_ERROR	低音 5 回	赤色	変換またはフォーマットに関するエラー
無線操作			
OUT_OF_MEMORY	低音、高音、低音、高音	赤色	バッチのストレージのメモリが足りず、新しいバーコードを保存できません。

メンテナンス インジケータ			
ブートローダに切り替え	高音、高音	赤色の点灯	
ファームウェアのインストール	なし	赤色の点滅	

●クレードルの LED インジケータ

表 3 クレードルの LED インジケータ

LED	意味
通常の使用時	
緑色 (点灯)	電源投入
無線インジケータ	
青色 (消灯してから点灯)	Bluetooth 接続が確立された
青色	呼び出しボタン
青 (速く/ 速く/ ゆっくり)	呼び出し済み
メンテナンス インジケータ	
赤色 (点灯)	ブート ローダに切り替え
赤色で点滅	ファームウェアのインストール

表 4 に、特定のホストがシステム インジケータ LED を制御するステータスのリストを示します。

表 4 ホスト制御クレードル LED インジケータ

LED	意味
123Scan	
緑色でゆっくり点滅	スキャナが 123Scan に接続されています。
赤色ですばやく点滅	ファイルがスキャナに転送されています (パラメータとファームウェア)。
赤色でゆっくり点滅	スキャナでファームウェアがアクティブにされています (メモリにロードされています)。
緑色で点灯	プログラミングが正常に完了しました (パラメータとファームウェア)。
赤色で点灯	エラーの状態です。
SMS	
赤色で点滅 (スキャナとクレードルの両方)	SMS パッケージをスキャナにロードしています。

■ ホストとの接続

● ホストとの接続方法例

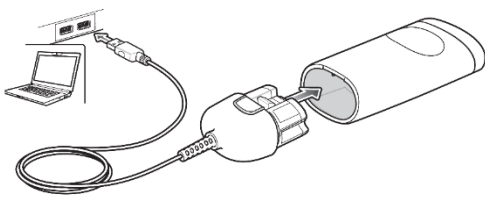
接続には次の 2 つの方法があります。

各接続方法については、次のページを参照してください。

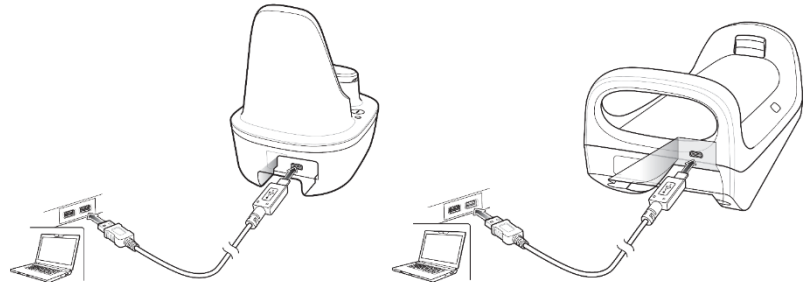
ケーブル経由での接続（HID キーボード）	Page-12
Bluetooth 経由での接続（HID キーボード）	Page-14

1. ケーブル経由での接続

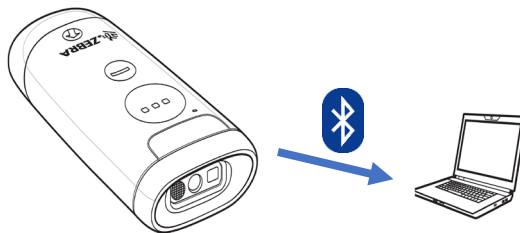
a. ケーブル経由での USB 接続



クレードル経由での USB 接続



2. Bluetooth 経由での接続



● バーコードメニューの読み取り方例

ハンドヘルドモードでのスキャン例



各機能は本書に記載されているバーコードメニューを読み取って設定します。

スキャンウィンドウから照射される照準をバーコードの中央に合わせて、スキャンボタンを押します。

※バーコードが隣接して読み取りにくい場合はピックリストモード（Page-23）の設定を有効にしてください。

※バーコードメニューに「*」が付いている項目は、初期値となります。

ケーブル経由での接続（HID キーボード）

■ USB ケーブル経由での USB 接続

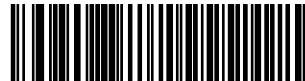
1. 本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。

①



工場出荷時の設定に戻す

②



* HID キーボード エミュレーション

③



日本語（ASCII）

■ クレードル経由での USB 接続

1. 本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。

①



工場出荷時の設定に戻す

左記バーコード読み取り後、クレードルに貼られているバーコードを読み取り、ペアリングを行ってください。
ピポ音が鳴りましたら成功です。



②



* HID キーボード エミュレーション

③



日本語（ASCII）

左記バーコード読み取り後、約 5 秒後にピポ音が鳴りましたら、成功です。

ケーブル経由での接続（HID キーボード） 共通

■ USB キーストローク遅延



*遅延なし



中程度の遅延（20ミリ秒）

■ USB 高速 HID



*有効



無効

注意：

USB 接続で、読み取ったバーコードデータを PC などへ転送する際に桁落ちが発生する場合は、まず「USB 高速 HID 設定」の無効をお試しください。

改善されない場合は、「USB キーストローク遅延」の「中程度の遅延」を設定してください。

Bluetooth 経由での接続（HID キーボード）

本製品とホストをペアリングします。通常、ペアリングは最初に 1 回だけ行います。以降 は本製品の [スキャンボタン] を押すだけで自動的にホストと接続されます（「自動再接続」設定時）

■iPhone/iPad との接続

iOS を例に接続（ペアリング）の方法を説明します。

1. 本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。



仮想キーボードをご使用の場合、左記バーコード読み取り後、次 Page「補足：1. Apple iOS 仮想キーボード切り替え」の設定後、下記接続を行ってください。



←ホストの BLE サポートが不明な場合、
こちらを読ませてください。



2. iPhone で [設定] → [Bluetooth] をタップします。

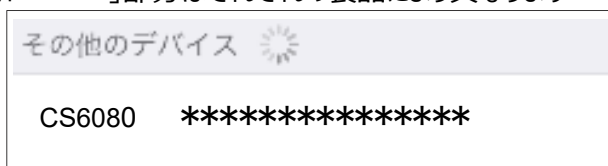


3. [Bluetooth] を ON にします。



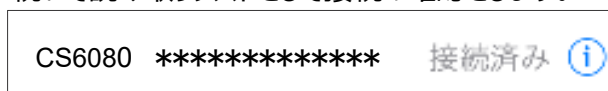
4. 「その他のデバイス」に表示される [CS6080: * * *] をタップします。

※「* * *」部分はそれぞれの製品により異なります



5.本製品と iPhone がペアリングされて「接続済み」が表示されます。

続いて読み取りテストをして接続の確認をします。



6.iPhone ホーム画面で［メモ］をタップして起動したら、［新規］をタップします。

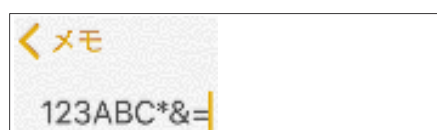


7.本製品で次のバーコードを読み取ります。



123ABC*&=

画面に次のように表示されれば接続は成功です。



補足：

1. Apple iOS 仮想キーボード切り替え

— ボタンを押すと、仮想キーボードの「表示・非表示」切り替えを行います。



*無効



有効

■Android との接続

Android 9 を例に接続（ペアリング）の方法を説明します

1.本製品で次のバーコードを順番に読み取ります。

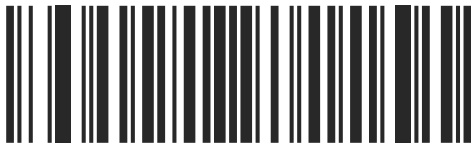
接続待ち状態になります。

①



工場出荷時の設定に戻す

②



Bluetooth HID プロファイル

←ホストの BLE サポートが不明な場合、
こちらを読ませてください。



BLE HID プロファイル

2.Android 端末のアプリ画面で [設定] → [Bluetooth] をタップします



設定



接続済みの端末

Bluetooth、NFC/おサイフケータイ

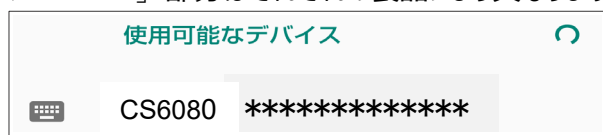
3. [Bluetooth] を ON にします。

+

新しいデバイスとペア設定する
ペア設定できるよう Bluetooth が ON になります

4.「使用可能なデバイス」に表示される [CS6080: * * *] をタップします。

※「* * *」部分はそれぞれの製品により異なります。



CS6080***** を
ペアに設定しますか？

☐ 連絡先と通話履歴へのアクセスを許可する

キャンセル ペア設定する

5.ペアリングが完了すると下記 画面が表示され本製品が使用可能になります。

続いて読み取りテストをして接続の確認をします。

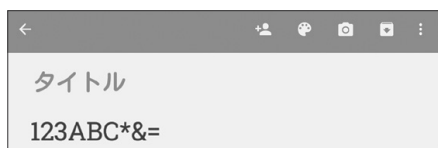


6.Android 端末で、メモ帳など テキスト入力ソフトを起動します。

7.本製品で下記バーコードを読み取ります。



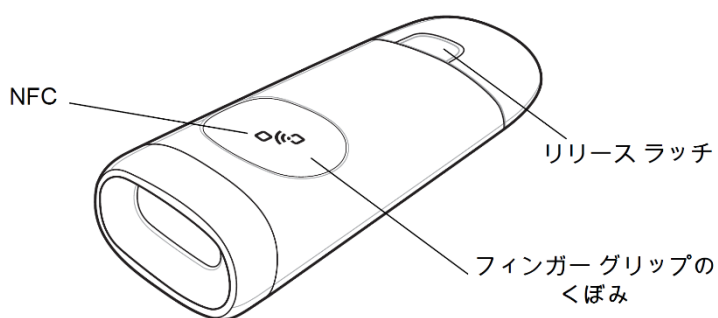
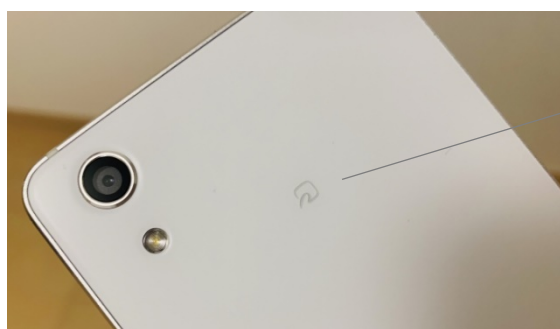
画面に次のように表示されれば接続は成功です。



【補足】

1. NFC タップ

NFC アイコン同士を合わせる事により、ペアリングが可能です。



注意：ペアリング接続された状態で再度 合わせると切断します。

■ Windows との接続

Windows 10 を例に接続（ペアリング）の方法を説明します。

1.本製品で次バーコードを順番に読み取ります。

接続待ち状態になります。

①



工場出荷時の設定に戻す

②



日本語 Windows

③



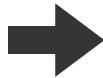
Bluetooth HID プロファイル

←ホストの BLE サポートが不明な場合、
こちらを読ませてください。

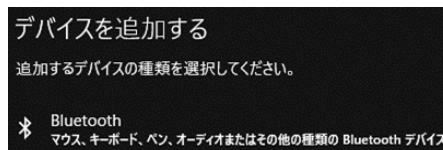
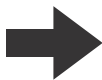
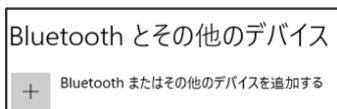


BLE HID プロファイル

2.Windows スタート画面で [設定] → [デバイス] → [Bluetooth とその他のデバイス] をタップし、
[Bluetooth]をオンにします。

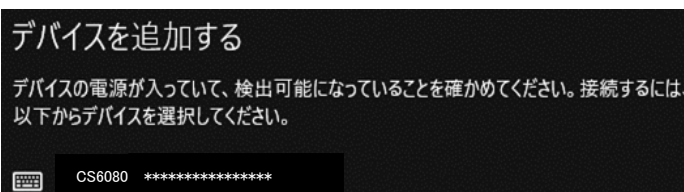


3.「Bluetooth とその他のデバイス」 → [Bluetooth]を選択します。

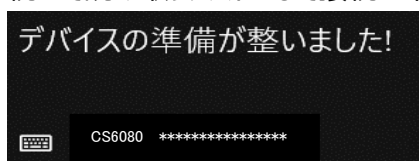


4.「CS6080: * * *」をタップし、続いて表示される [ペアリング] をタップします。

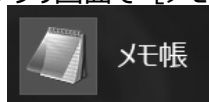
※「* * *」部分はそれぞれの製品により異なります。



5.ペアリングが完了すると下記 画面が表示され本製品が使用可能になります。
続いて読み取りテストをして接続の確認をします。



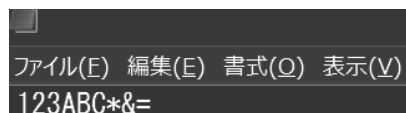
6.アプリ画面で【メモ帳】をタップして起動します。



7.本製品で次のバーコードを読み取ります。



画面に次のように表示されれば接続は成功です。



注：記号が正しく表示されない時は、キーボードのタイプを日本語 Windows に変更してください。

■ 端末との再接続

本製品には電源スイッチはありません。使用しないまま一定時間が経過するとスリープ 状態になり、端末との Bluetooth 接続は切断されます。

また、[スキャンボタン] を押すとスリープ状態から復帰します。

● 自動再接続の設定（初期値：自動再接続する）

本製品を自動再接続に設定すると、無線が切断した場合やスリープからの復帰時に 自動的に再接続します。



*ただちに自動再接続する



自動再接続を無効にする

● 再接続のしかた（自動再接続に設定されている場合）

スリープ状態の場合は [スキャンボタン] を押して本製品を起動します。

接続されると「ピッ」と音がします。

注：接続できない場合は、ホスト側の Bluetooth が ON になっていることを確認してください。

■ ペアリングの解除

本製品とのペアリングをホストから解除するには、次の手順で行います。

● iOS

- 1.iOS 端末で [設定] → [Bluetooth] をタップします。
2. [CS6080 : * * *] [!] をタップし [このデバイスの登録を解除] をタップします。
※「* * *」部分はそれぞれの製品により異なります。

● Android

- 1.Android 端末で [設定] → [Bluetooth] をタップします。
2. [CS6080 : * * *] [*] をタップし [切断] をタップします。
※「* * *」部分はそれぞれの製品により異なります。

● Windows

- 1.Windows 端末で [設定] → [デバイス] をタップします。
2. [CS6080 : * * *] をタップし [デバイスの削除] をタップします。
※「* * *」部分はそれぞれの製品により異なります。

自動的に付加コードを入力する

読み取ったバーコードデータを ホストに送る際に、改行コードなどをデータの後に付加することができます。

初期設定は「付加コードなし（データのみ）」です。

●付加コードなし



*データのみ

●CRLF（ENTER）コードを付加する



●TAB コードを付加する



読み取り設定

■ピックリストモード

読み取りエリアに複数のバーコードがある場合、照準が当たっているバーコードを読み取ります（初期値：無効）



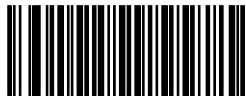
*常時 無効にする



ハンドヘルドモードで有効にする

■ビープ音の大きさ

ビープ音量を設定します（初期値：大）



*大



小

■全バーコードの読み取り

すべてのコードタイプを読み取れるように設定します。



すべてのコードタイプを有効にする



すべてのコードタイプを無効にする

注：特定のコードタイプだけを読み取り可能にする場合は「無効」を設定した後、読み取り対象のコードタイプの設定バーコードを読み取ります。

■ EAN/JAN の読み取り

● EAN-13/JAN-13（初期値：有効）



*EAN-13/JAN-13 を有効にする



EAN-13/JAN-13 を無効にする

● EAN-8/JAN-8（初期値：有効）



*EAN-8/JAN-8 を有効にする



EAN-8/JAN-8 を無効にする

■ UPC-A/UPC-E の読み取り

● UPC-A の有効／無効（初期値：有効）



*UPC-A を有効にする



UPC-A を無効にする

● UPC-E の有効／無効（初期値：有効）



*UPC-E を有効にする



UPC-E を無効にする

● UPC-A の先頭に“0”を付加する(システムキャラクタおよびカントリーコードを選択)



*システムキャラクタ

<システムキャラクタ> <データ>



システムキャラクタおよびカントリーコード

<カントリーコード> <システムキャラクタ> <データ>

● UPC-E の先頭に“0”を付加する(システムキャラクタおよびカントリーコードを選択)



*システムキャラクタ

<システムキャラクタ> <データ>



システムキャラクタおよびカントリーコード

<カントリーコード> <システムキャラクタ> <データ>

■ Code39 の読み取り

● Code39 の有効／無効（初期値：有効）



*Code39を有効にする



*Code39を無効にする

● Code39 のスタート・ストップ^①キャラクタを転送する



■ Code128 の読み取り

● Code128 の有効／無効（初期値：有効）



*Code128を有効にする



*Code128を無効にする

■ NW7 の読み取り

● NW7 の有効／無効（初期値：有効）



*NW7 を有効にする

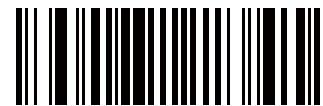


NW7 を無効にする

● NW7 のスタート／ストップコード転送設定（初期値：許可）



*転送許可



転送禁止

■ GS1(GTIN)の読み取り

● GS1 DataBar Omnidirectional（旧 DataBar-14）の有効／無効（初期値：有効）



*GS1 DataBar Omnidirectional を有効にする



GS1 DataBar Omnidirectional を無効にする

● GS1 DataBar Limited の有効／無効（初期値：有効）



*GS1 DataBar Limited を有効にする



GS1 DataBar Limited を無効にする

● GS1 DataBar Expanded の有効／無効（初期値：有効）



*GS1DataBarExpanded を有効にする



GS1DataBarExpanded を無効にする

■ GS-1 コンボジットの読み取り

● CC-A/B の有効／無効（初期値：無効）



*CC-A/B を無効にする



CC-A/B を有効にする

● CC-A/C の有効／無効（初期値：無効）

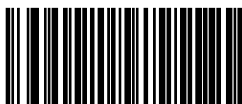


*CC-C を無効にする



CC-C を有効にする

● 1D 反転（初期値：標準）



*標準



反転の自動検出

■ 2D バーコードの読み取り

●QRコードの有効／無効（初期値：有効）



*QRコードを有効にする



QRコードを無効にする

●Data Matrixコードの有効／無効（初期値：有効）

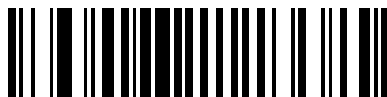


*Data Matrix を有効にする

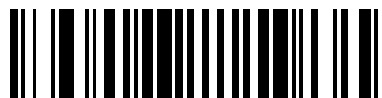


Data Matrix を無効にする

●PDF417の有効／無効（初期値：有効）



*PDF417 を有効にする



PDF417 を無効にする

■ パスポート OCR 読み取りの設定

次の手順でパスポート OCR 機能を有効にします。

1. OCR-B を有効にします。

OCR-B を有効にする



*OCR-B を無効にする

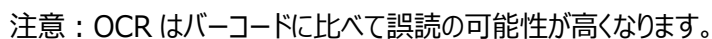
2. パスポート OCR 読み取りを有効にします。



OCR-B Passport



*OCR-B Full ASCII

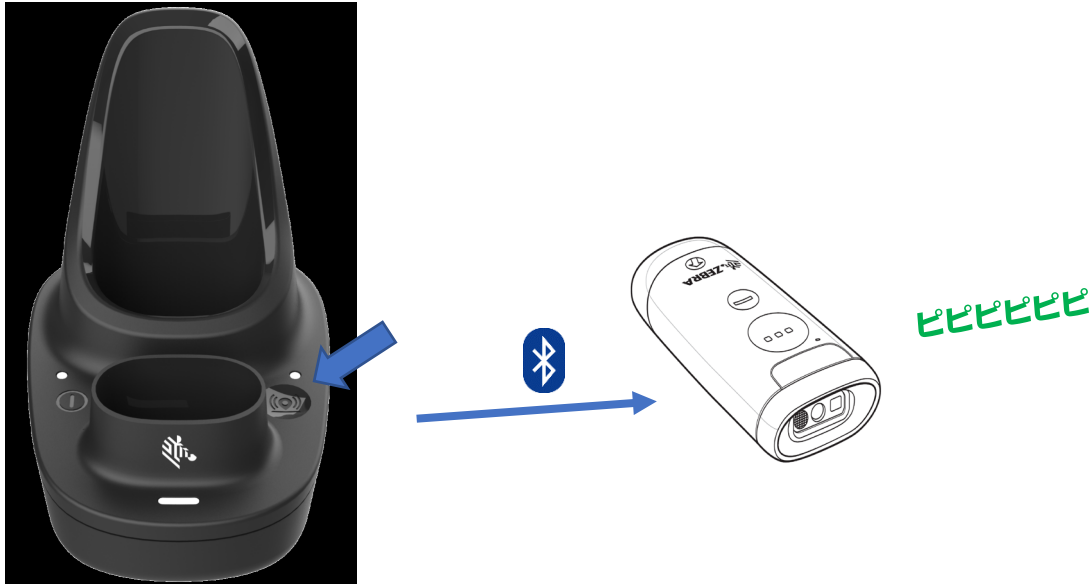


また、OCR 設定を有効にすると読み取り速度が遅くなることがあります。

■ 呼び出しボタン

1. 指をボタン センサー(👉) の上に置き、約 1 秒間押します。
2. スキャナがクレードルから取り外されている場合、クレードルの LED は青色になります。ペアリングされたスキャナでビープ音が鳴り、点滅、振動します。
3. 必要に応じて繰り返します。

注: 呼び出しても、無線エリア外にあるスキャナではビープ音が鳴りません。



呼び出しボタンを無効



*呼び出しボタンを有効

■ 仮想テザー

仮想テザーは、本機が通信範囲外に出た事をオペレーターに知らせます。

Bluetooth 接続が切断されている場合は、ビープ音・LED・照明で知らせます。

● 仮想テザー アラーム設定 (初期値 : 無効)



* 仮想テザーアラームを無効にする



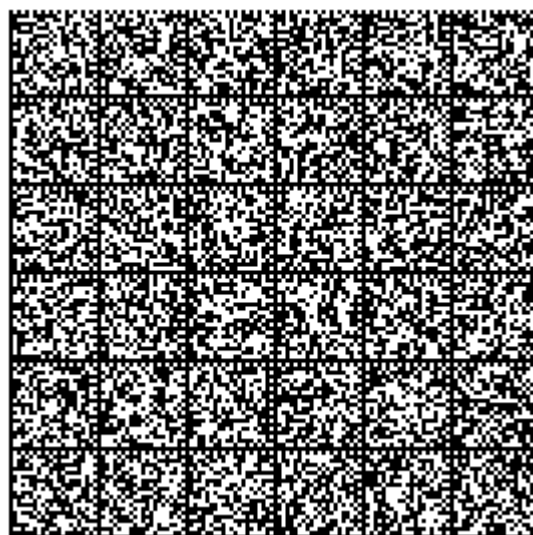
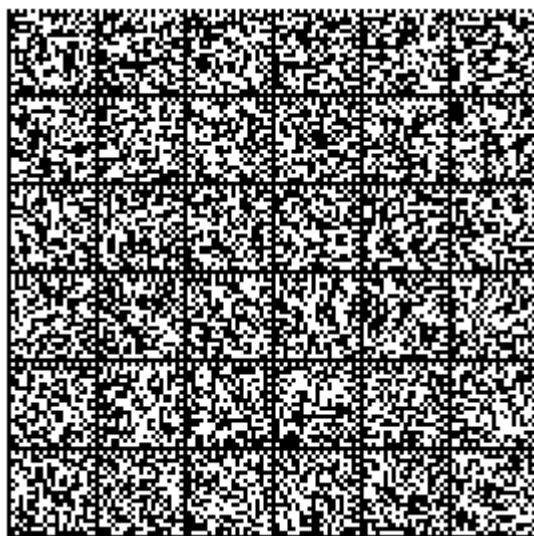
仮想テザーアラームを有効にする

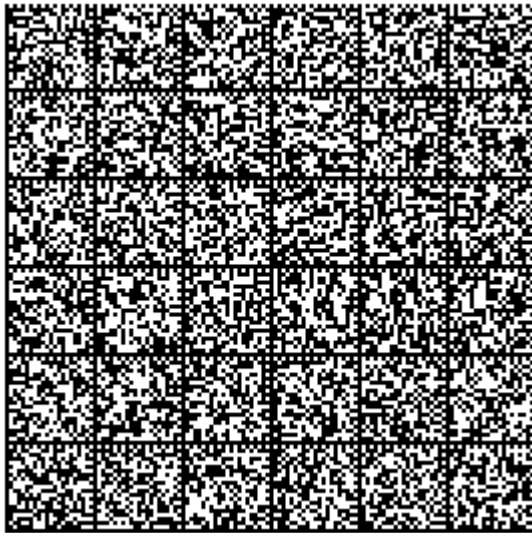
サンプルメニュー

■ GS1 編集機能

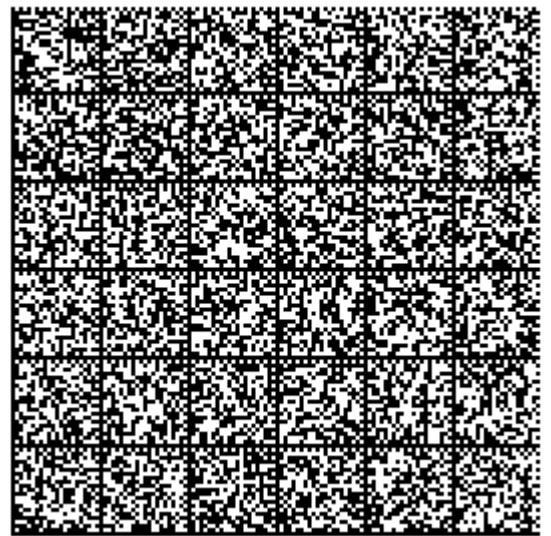
● 括弧 () 付加

GS1 バーコード内には () が含まれておらず () 以外の英数字を出力しますが、本設定後の読み取りで () を付加して出力します。

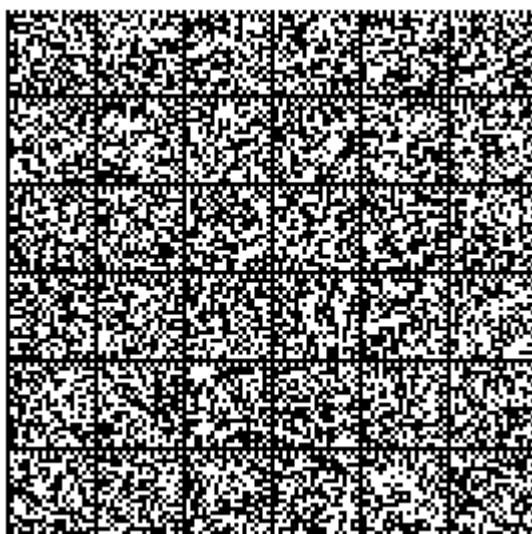




Barcodes 3 of 7



Barcodes 4 of 7



Barcodes 5 of 7



Barcodes 6 of 7



Barcodes 7 of 7

バーコード例：



(01)14987123152331(17)191200(10)K054A

注意 1：データの後に付加コードを設定済みの場合は、下記を出力します。

*ENTERコードを付加した場合：

(01)14987123152331*

(17)191200*

(10)K054A*

尚、AIコード「(01) (17) (10)」が異なる場合、出力されませんので担当営業にお問い合わせください。

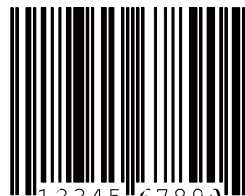
サンプルバーコード

- **Code39**



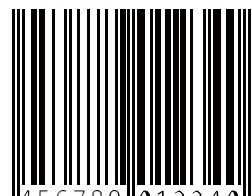
123ABC

- **UPC-A, 100%**



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 5

- **EAN-13, 100%**



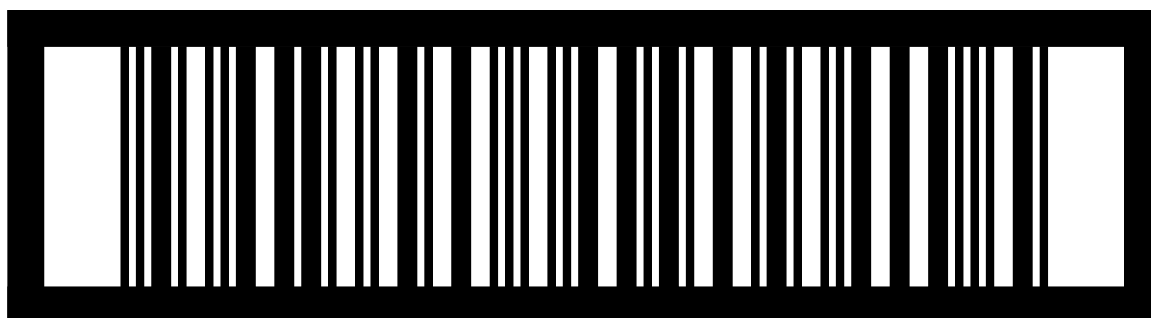
3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 0

- **Code128**



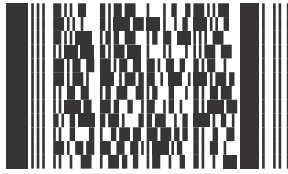
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

- **Interleaved 2 of 5**

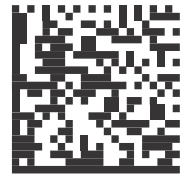


1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 1

- PDF417



- Data Matrix



- GS1 Omnidirectional (旧 GS1 DataBar-14)



- QR コード



アヴネット株式会社

アヴネット株式会社

東京本社

〒 150-6023 東京都渋谷区恵比寿 4 丁目 20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー 23 階 エンベデット第 2 営業部

Tel (03) 5792-9860

西日本支店

〒 541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 2 丁目 3-13 大阪国際ビルディング 15 階 エンベデット第 2 営業部

Tel (06) 4705-1200

2021 年 3 月 第 1.0 版